

# アマダイ通信NO. 73b

(Tile fish network letter)

09年 紫陽花の色遷ろう

## 知人・友人各位

6月の第一金曜日の夜、東大三鷹寮の昭和40年・41年入寮生の合同同期会。40年入寮の小林節先輩が社長をするパレスホテルの宴会場、大手町ファーストスクエア宴は今年も盛り上がる。折からパレスホテルは建替え中。高橋カーテンウォールの外壁始め、顧問先のメーカー各社にお手伝いさせて頂こうとゼネコンと交渉中。不況の最中に進む建替え。建設コストを抑え、完成時には景気回復で、千客万来といきたいものだ。

## ◎スキーウエアはクリーニングしない?!・・・奥只見で❄の冬終わる

大型連休最初の土曜日の朝、シーズン最後、七回目のスキーのため、ジョルダンの佐藤社長、団塊ネットの桂木君の、いつものメンバーと東所沢のパーキングで待ち合わせ、雨の中を奥只見に向かう。このところ、5月の連休はいつも海外、久しぶりの奥只見での滑り納め。スピードとスリル、ダイナミズムと元気な証し?を求め、雪山へ!

関越道を小出で降り、水を張って新緑を美しく映す水田を車窓に見、岩盤を削り貫いた長いトンネルを抜け、3時間足らずで着いた奥只見も大雨。ここまで来たのだ、取り敢えず滑ろう!先ず腹ごしらえ。3本のリフトを乗り継ぎ、山頂へ。シーズンが終わるとクリーニングに出し、防水加工している筈の❄のスキーズボンだけ、滑る前にもうびしょ濡れ。濡れていない他の三人は、スキーウエアはクリーニングに出さないという。特殊加工した繊維を使い、完全防水の最近のウエアは、クリーニングすると防水効果が落ちるといふ。多分一滴の雨も漏らさない、ゴルフのレインウエアもそうなのだ。コースを外れ、雨で雪の締まった林間を自在に、楽しく滑る。新雪ではこうはいかない。雨は酷くなるばかりで、ずぶ濡れ。二本滑って切り上げ、長いトンネルを再び抜け、麓の湯本温泉へ。

ここだろう!入口のホテル湯本に車を着けるが、予約は入っていないという。一人幾らで予約していますか?と聞かれ、7千8百円と答えると、うちはそんなに安くないです!と怒声。かつて使い慣れたホテルを見つけ入ると、「伊藤園グループ」の看板。経営が替わったのだ。立派な岩風呂、露天風呂はそのままだが、昔は部屋食、てんこ盛りの温泉料理が、テーブルバイキングの居酒屋食に。味気ないが、年中同じ低料金で満杯だという。

翌朝も雨、スキーは諦める。湯之谷村の売店で山菜を漁る間に青空になるが、夜の酒の友に根曲り筍と木の芽を買い、二時間半で所沢着。日帰りも可能だ。来シーズンは11月からの滑り初めと春の滑り納めは、奥只見ということにする。同行の、同好の士を求めます!

## ◎足利事件に思う・・・密室捜査の可視化を!

殺人容疑で無実の罪に問われた菅家さんが「失われた17年を返せ!警察、検察を許さない!」と叫ぶ。悲痛だ。❄も足掛け3年刑務所暮らしを余儀なくされたが、予定の行動、覚悟の生活だった。限られた生活環境で如何に快適に過ごすか?どれだけ本を読めるか?己の思想と体を鍛え、外の仲間と連帯、運動を盛り上げるか?充実した日々が続いた。本や衣類、食べ物、お金の差し入れ等、支えてくれる沢山の関係者がいた。40年前で20

万円の保釈金も、通常は仲間がお金を裁判所に供託、直ぐ釈放されるのに、差し入れて頂いた自分のお金で足りたので、刑務所から裁判所に金を移す手続きに手間取り、刑務所で二度目の年越しをする羽目になった。しかし、身に覚えのない四歳の幼女殺人事件で逮捕・拘留された17年間は、為す術もない一人のバス運転手にとって辛かっただろう。

冤罪事件が無くならない理由に、刑事司法における自白の偏重がある。物証が少ない事件、捜査の難しい事件なら尚更、自白を得ようとあの手、この手を使う。一緒に逮捕された仲間が自白しているからお前も早く自白して楽になれ！とか、お前だけ頑張っても意味がない！等と偽計を使う。机をドンドン叩き脅迫、髪の毛を引っ張る等の暴行を加え、煙草や食事の提供等の利益供与も。家族からも見放され、差し入れもなく、余罪を延々追及されるコソ泥等にとっては、一本の煙草、一杯のカツ丼すら、自白の誘因になる。今回は自白の補強証拠となったDNA鑑定 of 証拠能力が否定されることで、自白の証拠能力も否定され、再審につながった。いずれにしろ密室での取調べと、そこで得られた自白に証拠能力を認めるには慎重でなければならない。取調べをビデオで記録するのは一つの解決策だ。

今回は無期懲役の判決が覆されたが、死刑判決なら既に執行されていた可能性がある。被疑者は全て無罪が推定され、人格の可塑性から犯罪者の矯正を目的とする刑法が、法の名で人が人を殺すことを許していいか？との議論は措いても、冤罪の問題がある限り、死刑は廃止すべきだろう。被害者感情の治癒は別個の問題として解決されるべきである。

### ◎🍀は愛のキューピッド！・・・ツヴァイになる！？

95年東大三鷹国際学生宿舎入寮で、仏国営化学会社日本法人技術部長の横田君が中国から電話をくれる。驚いたことに、寮同期の高見邦雄君が主宰する中国山西省の黄土高原緑化NPO、「緑の地球ネットワーク」のスタッフの会田さんと結婚。横田君の転勤に合わせ、上海で世帯を持つという。三鷹寮同期の会田柏崎市長のお嬢さんで30代半ば。両親も心配しているだろうと、大阪出張の折、三鷹寮後輩で彼女より少し年下の横田君と引き合わせ、新大阪駅的美々卵でうどんすきの鍋を囲み、名物の凍結酒を振舞った。

横田君は東大工学部を卒業して海外に留学、フランスの化学会社の技術エリートとして、日本支社に派遣され、今度は上海に転勤、世界を股にかけ活躍する。会田さんも中国の大学を卒業。彼の地で高見君と出会い、日中を往復、中国語を駆使して高見君の黄土高原緑化事業を手伝う国際派。その二人が結婚、横田君の転勤に伴い、上海で世帯をもつという。世界が一つになったことをあらためて感じる。

高見君からは余計なことをして！ようやく一人前に育てたのに！と恨まれたが？僕がツヴァイしたことになる。同期会などでよく、いい歳で子供が独身だ。身元がはっきりしているそれぞれの息子と娘を組み合わせられれば、お互いハッピー！データベース作ってマッチングしたらどうか？という話になるが、誰がする？と言うところで、いつも足踏み。手間がかかるし、プライバシーに関わる。ミスマッチの時のトラブルも怖い。成功例ができたし、この際スタートさせたらどうかという気にもなるが・・・。

### ◎🍀のイスラエル紀行（2009. 4. 29～5. 6）

ナチスによりアウシュビッツの収容所に閉じ込められ、虐殺されたユダヤ人が、アメリカの軍事・経済的支援の下、パレスチナ人をガザという収容所に閉じ込め、爆撃、虐殺す

る。人類の負の連鎖を断ち切る手立てはないか？5月の連休、正月に訪れたヨルダンと死海を挟み対峙するイスラエルへ、再び前線の国へ。

#### ① ハリネズミ国家、ベングリオン空港で逮捕される！？（4. 29）

添乗員からの事前の電話で、イスラエル機では中身のチェックがあるので、トランクに鍵をしないように言われていた。成田のキャセイ航空のカウンターで、トランクにキーしない方がいいよね？と確かめると、しても大丈夫です！と女の子。金目の物が入っている訳ではないが、何となく不安で、キーをしてカウンターの向こうに送り出す。再集合すると、添乗員の石山さんが「しちゃったの？鍵取られて返ってこないわよ！」。

香港に着くと目付き鋭いユダヤ人がお出迎え。「組織に属したり、仲間であって人はいませんか？」エルアル航空のカウンター前で一人々に厳しく質問。自分が甘ければ一緒に肉片となって散らばる。☛は簡単に解放されるが、アラブ旅行歴を問題にされ、ツアー仲間の一人が長時間拘束される。他国で既にこの厳しさ、入国後が思いやられる。敵対するシリア・ヨルダンはのんびりしていた。香港の搭乗口で中身を全部出し、厳しい手荷物検査を受けたのは若者ばかり。爺々はテロ遂行能力ありとは見なされないよう。香港から11時間のフライトでテルアビブ着。機内でトランクの鍵は返される。

パスポートにイスラエルのスタンプがあると入国できないアラブの国もあるので、と“**No stamp, please!**”と書いたメモを、添乗員が渡してくれる。入国審査で、どうしてノースタンプなのか？何のためにイスラエルに来たのか？など、英語で厳しく質問される。世界中何処へでも行きたいから！イスラエルを勉強したいから！などと、しどろもどろの英語で答える。別の係員も来て、他の一人の同行者と別室へ連れていかれる。

香港で一緒だった出稼ぎ？フィリピーノが沢山先客でいる。若い一人が別室に呼ばれ、ほどなくして解放される。香港で厳しいチェックを受けた仲間のもを除き、荷物も無事着く。ほぼ満員のジャンボ機で、十人くらいの客の荷物の検査が間に合わず、香港に残された。手続きが済みようやくバスでホテルへ。バスと並走する長い貨車の上には戦車。

#### ②死海と水虫と拳銃・・・三鷹寮の先輩と（4. 30）

かつてロッド空港（現ベングリオン空港）で自動小銃を乱射した京大赤軍派の奥平君はその場で射殺。捕まった鹿児島大の岡本公三君は長い拘留生活で廃人に。多分彼らも僕も、67年10月8日の、「70年日米安保条約改定反対！佐藤首相訪米阻止！」羽田闘争で、京大生の山崎君が死んだ時、皆同じ羽田周辺にいた。なぜ山崎君が死んで僕は生きているのか？と思い、次に奥平君は死んで何で僕は生きているのだと思い、廃人になった岡本君が誰かに匿われて、確かに住んでいる筈のパレスチナに、僕は遊びに来ているんだ！遊びに！と、気持ちが昂ぶるのは高血圧のせいかな？

朝食のサラダにネギとモヤシ、サバの他に二種類の魚の酢漬けも取り、安橋さんの向かいに座る。サラダの野菜が多いのは、イスラエルの進んだ灌漑技術の成果。ロシアや北欧の様に、魚の酢漬けをよく食べるのは、それらの国からの移民が持ち込んだ食習慣か？大阪ガスの役員をしていた安橋さんという東大三鷹寮の先輩がいらっしゃるのですが？と聞くと、私が兄ですと言う。おまけに、弟は馬術部で、私は食事委員をしていました！と。二度びっくり！三鷹寮にはかつて馬場があり、馬術部の合宿所になっていた。ホテルの目

の前にはマリナー。地中海が美しく広がる。

世界文化遺産だという、高々百年しか歴史のないテルアビブのホワイトハウス四千戸の街区を、何でこれが世界遺産なの？世界中何処にでもある街じゃない？ユダヤ資本の、ロスチャイルドの力？と口々に言いながら見て回る。次に BC18 世紀頃から砦や港として発展、聖地巡礼の旅が始まる 13 世紀には、エルサレムへの玄関口になった古都ヤッフォへ。ロータリーに、自動小銃肩に物憂げに屯する数十人の若い女兵士。男子 3 年、女子 2 年の兵役義務がある。ユダヤとアラブを遮る鉄条網や高い分離壁、ベトウインのバラック、ナツメ椰子畑を時折見ながら、砂漠を死海に降りて行く。

死海が北と南に分かれる辺りにマサド（砦）の遺跡。エルサレムがローマ帝国に陥落された AC70 年、テーブル状の山々が連なる山頂砦に千人弱のユダヤ教徒が立て籠もり、3 年の抵抗の後、全員自害して果てたという、ユダヤの聖地。以降彼らは故地を完全に失い、彷徨う民となる。為す術もなくヒトラーに虐殺されたホロコーストの民と違い、ユダヤの教義に反しても徹底交戦、自害した彼らはイスラエルの英雄ともなり、精神的バックボーンともなる。エン・ボケックのホテル着。ドアマンの若い娘の腰にはピストル。

正月にヨルダン側で泳いだ死海に、イスラエル側で浸かる。こちら側の塩分が濃いのか？岸辺に塩の結晶がゴロゴロ。海底も真っ白。前回は、心配した大腸癌の傷も痛むことなく、今回も大丈夫！と思ったのに右足指の水虫がピリピリ。それにウォシュレット常用で柔になった？尻が、文明の利器のない世界で傷めつけられ？ビリビリ来る。早々に上がる。ミニスーパーで地ビールのロング缶を 12 シュケル、3 ドルで買う。輸入品のツボルグは 12.5 シュケル。夕食のビールは 3 ドルということだが、来たのは小さなコップに一杯。ランチのサービスビールというところ。仕方なくもう一杯。客が少なくなるとホテルの従業員も一緒に食事。到着時のドアウーマンも一緒に食事するが、相変わらず腰に拳銃。

### ③崩れしままの石垣に！・・・ヨルダン川の水は誰の物か？（5. 1）

テルアビブ、死海、ナザレと水の少ない地域を周り、ガリラヤ湖畔のティベリアに泊まる。ガリラヤ湖に発するヨルダン川が、流域に恵みをもたらしながら流れ、死海に注ぐ。死海は毎年 1 メートルずつ水位を下げ、来世紀には消滅すると言われる。砂漠のど真ん中の死海周辺でも灌漑で夏目椰が栽培され、ホテルや街路は緑の芝生と色とりどりの花や並木で美しい。水をピンポイントで有効利用する点滴灌漑の技術による。根元には一定間隔で針で差したような小さな穴の開いた、細いゴムホースが隈なく張り巡らされている。灌漑の普及と人口増による、ヨルダン川水系の水の過剰利用が原因で、死海の水位低下が進む。パレスチナ問題の深層に水問題がある。灌漑農業の過剰な発達で、死海が地図から消えるのも時間の問題だとも。アラル海の二の舞にはなあって欲しくない。

聖母マリアが受胎告知を受けたナザレの町は、大きな丘陵の麓から頂上まで、緩やかに赤い洋瓦の家並みの列なる美しい町。素晴らしい現代建築の受胎告知教会の内壁では、各国の信徒から寄進された大きなマリア像が美しさを競う。他に聖ヨセフ教会や婚礼教会等、ユダヤ教にとって「裏切り者のイエス」ゆかりの史跡を、ユダヤ人ガイドが案内。ユダヤ教会のシナゴークは一ヶ所だけ。ユダヤ教会は地味で物語性もないからか？

街中は遠目ほど美しくはなく、アラブ人の多い街のスークでは雑多な物が売られている。高いミナレットを持ったモスクも、幾つか見掛けるが少ない。ユダヤ人支配下で宗派性を

強く主張できないのか？前後に、紀元前 4、5 千年以降の史跡が十数層に渡り出土した、メギドやベトシェアン等の遺跡を歩く。ユダヤは歴史の長さ、かつてその地を支配した者による現在の支配の正当性を誇示する。だが、崩れしまの古城の石垣に、虚しさや憤りを感じるのは私だけか？造っては壊し、建てては滅ぼし、涙の乾かぬ内に血を流し、を今に及ぶまで繰り返すのかと！

#### ④変わるキブツと水を求めて（5. 2）

海面下の淡水湖、イスラエル唯一の水瓶、ガリラヤ湖畔のキブツの博物館へ。湖中から出土したイエスの時代の木船を見る。昼は別のキブツの、数百人は一緒に食事できる巨大レストランで、淡水魚のセラピアのグリルをメインで頂く。イスラエル建国初期、着の身着のままパレスチナに入植した、社会主義的理想に燃える者達が創ったコンミュンも、農業から工業、サービス業へと事業領域が拡大、豊かになるにつれ、性格が変わった、とガイド。貧しいながらも平等に働き、平等に取る。子供も幼児期を過ぎると 18 歳まで共同生活をする。食事も食堂で一緒、洗濯も一緒。質素だが平等に食べていける社会主義的「共同体」から、意欲と能力に応じて働き、働きに応じて取る、成果主義の「企業体」に。子育ても家庭がする、個人主義的システムが変わったと。

湖上の遊覧船から、67年の第三次中東戦争でイスラエルがシリアから奪ったゴラン高原を望む。ガリラヤ湖からのヨルダン川の流れ口では、頭まで水に浸かって洗礼するクリスチャンまでいる。膝まで入ってみるが、水は余り綺麗ではない。生活排水や化学肥料が流れ込むからか？洗剤のせいか湖岸は泡立っていた。

灌漑を発達させることで農業を飛躍的に発展させ、食卓には種類豊かな野菜が並び、柑橘類やナツメ椰子、無花果、柘榴は勿論、バナナやマンゴーまで栽培する。ワインやオリーブ油も中々のものだが、大量の水を必要とする。移民を受け入れ増える人口と、生活水準の向上が、水不足に拍車をかける。海面下数百メートルの淡水湖ガリラヤ湖からポンプで水を汲み上げ、国土に隈無く配水する。「水を求めて」が戦争のもう一つのテーマだったのか？

#### ⑤チグハグな国（5. 3）

二泊したガリラヤ湖畔のティベリアから、地中海のアツコへ。少し走ってバスが故障、ハイファ行きの路線バスに乗換える。二台続けて来て、後のはガラガラ。ツアー客 17 名と添乗員、ガイドの 2 名が楽々座れる。マシンガンに肩に掛けた若い兵士が、どんどん乗り込んで来るのは気持ち悪い。ユダヤ教の金曜の安息日の休日明けで部隊に戻るのか？

ハイファ郊外のバスターミナルで、アツコ行きのバスを待つ。会社が 10 分で替えを出すと言っても、いつ来るか分からないから！とガイド。皆が蕎麦屋の出前だね！と応じて路線バスに乗るが、ここのターミナルにも、マシンガンを手にした若い男女の兵士が沢山バス待ち。軍事国家の面目躍如。鏡を見て熱心に化粧する女兵士も。

厳しい検査のため香港で積み残され、翌晩届く筈なのに今度は他人の荷物が来て、と散々だった仲間の荷物が 3 日かけようやく到着。ラジェーターに穴が空いたバスといい、あの水も洩らさぬ厳重な入国検査に比べ、何と間抜けな！随分チグハグな国だね！と皆。

十字軍の首都アツコでは巨大な海辺の要塞都市を、カエサリアでは造っては壊しを繰り返

した、港湾都市の遺跡を見る。廃墟の向こうに、日本の支援で造られたという火力発電所の巨大な煙突が三本、遺跡の石柱を見下ろすように立つ。少し沖合では大きな石炭運搬船がバースに繋がれ、荷降している。

## ⑥「嘆きの壁」は何嘆く？・・・やはり和食と平和だ！（5. 4、5、6）

エルサレム各所でLRT（路面電車）の工事が進む。同じ歴史都市でもアテネの選択は地下鉄。大量輸送でき、自動車交通も制限しないが経費もかさむ。掘削に伴い多数の遺跡が新たに発見された。エルサレムはLRTを選ぶ。大量輸送では劣るが、安上りで遺跡も破壊しない。数千年間、築いては壊し、建てては崩し、を繰り返すパレスチナやギリシャでは、歴史の地層が多重に重なり「古い時代」の発見は「新しい時代」の破壊となる。それぞれの「歴史」とっては意味があるが、ギリシャ、トルコ、イラン等でも同様の「遺跡」を数多く見て、頭の中で渾然一体となってしまった●に、何の意味があるのか？

オリブ山から、城壁に囲まれた対岸の旧市街を眺める。丘の上から眺めたナザレの街以上に遠目のエルサレムは美しい。その同じ場所で多層に重なった歴史は、繰り返し流された血の歴史、血の重なりでもある。然も「神の御名」における。とりわけ紀元後のそれは共に「人間の救済」を叫ぶ三大宗教によって繰り返され、今に及ぶ。ユダヤの聖地「嘆きの壁」はそのことを嘆いていないか？

テルアビブ空港の出国手続きは余り厳しくなく、トランクを開けさせられたくらいだ。出国便を狙った方がハイジャックは上手くゆきそう。夜10時近くのフライトで、6時過ぎに出国手続きが終わり、取り敢えず腹ごしらえ。レストランもMacとそれまがいしかない。他の店より品数の多い、イスラエル料理？のbuffetで、これとこれ！と指差し頼むが、サラダだけででんこ盛りになり、肉、魚は諦める。地ビール小瓶と併せ16ドル。イスラエルも含め、中東はアルコール類が高い。需要が少ないからだろうか？香港に翌日の昼過ぎ着。日本へのフライトが4時頃なので、ラーメンを食べたいとレストラン街へ。寿司の看板を見るとつい寿司屋へ。やはり寿司がいい。刺身と寿司十貫のセットが218香港ドル、生ビール大？55HKD、サービス料金込みで3千円弱。値段もいいが、味もいい！望んで海外に行きながら、何故、最後は「和食と演歌と大和撫子だ！」になるのか？

今回は近隣の中東諸国と対立、占領地でも分離壁を巡らせ、強面で臨む軍事国家のイメージが強いイスラエル。危なくない？とよく聞かれる。パックスツアーで危ない所に行く筈ないよ！と応えるが、イスラエルは何故ここまで、ハリネズミの「針を逆立てる」のか？自らはナチスのホロコーストの被害者だ！と声高に叫び、マサダの砦以来、離散を余儀なくされた受難の民だと強調する。が他方で、パレスチナの地からアラブ人を追い出し、ガザとヨルダン川西岸に、高い分離壁を建てて自由を奪い、囲い込む。自分がナチスにされたと同じことを、アラブの人間に強いてはいないか？より大きな規模で！

## ◎航空機からナノテクまで・・・7.7 東大三鷹クラブ第85回定例懇談会のご案内

今回の講師は神永晋住友精密工業（株）代表取締役社長（S40年入寮）です。

航空機用機械部品／材料製造には極めて高い精度の加工が要求され、ナノ加工技術は機械製造からロボット産業、宇宙産業、メカトロニクス、エレクトロニクス等々、様々な産業分野に及ぶ。米国では15年ほど前、クリントン大統領の就任直後から国を挙げナノテク

ノロジーを振興した。これが国際的にナノテクノロジーが活発化する嚆矢となった。

住友精密工業（株）は航空宇宙機器、油圧機器、環境システム機器、センサー機器等が得意だが、いずれもマイクロからナノテクノロジーが基本となっている。（実は小生の専門分野はバイオメディカルテクノロジー、すなわち、医療・生物分野への工学技術の応用・開発で、具体的にはES/iPS細胞を利用した再生医療や遺伝子・薬のデリバリーシステムに照準を当てているのだが、これなどもナノテクノロジーそのものである。）

神永晋君は昭和44年工学部機械工学科を卒業後、直ちに現在の住友精密工業（株）に入社、2000年取締役、2002年常務を経、2004年に代表取締役社長に就任。入社以来国際畑を中心に歩まれた。1981年（昭和56年）から1987年まで7年間ものドイツ・デュッセルドルフ駐在経験をもつ一方、1995年（平成7年）から1999年には英国ウェールズに駐在、ベンチャー企業（Surface Technology Systems社；STS）買収に関わり、その経営を立ち上げた。このような国際的な経験を通じ実行力、決断力、判断力が練磨され、社長就任に至ったと小生は思っている。神永君は、現在も欧米・アジアを含め毎月1～2回の海外出張をこなし、毎週1-2回、東京一関西間を往復する超多忙経営者だ。一見華奢に見える体ながら、東大テニス部で鍛えたその体は本人の努力も相俟って、十分にこの激務に耐えているが、医学に多少憶えのある友人としてはその働きすぎを心配している。

最後に三鷹寮時代の思い出を一言。昭和40年4月、まだ入学直後でフレッシュなやる気に満ち溢れていた小生は、結構真面目に三鷹寮と駒場キャンパス間を通学していた。ある日、一人の歌舞伎役者風の眉目秀麗な学生と出会う。「福島県立福島高校出身の神永晋です。」「大阪府立大手前高校出身の赤池敏宏です。」と名乗りあった記憶が残っている。白髪で若干薄目になった髪の毛を除くとその当時のイケメンで秀才っぽい風貌はそのまま。偶然小生の高校時代の友人先輩とも親しく、拡大同窓会を主催してくれる面倒見の良さにも感激している。

赤池敏宏（40年三鷹寮入寮／東京工業大学フロンティア研究センター）  
日時：平成21年7月7日（火）18時30分～21時（開場18時）、終了後別途二次会あり。  
場所：学生会館本館203号室（千代田区神田錦町3-28 Tel 03-3292-5931）  
会費：5000円（会場費、夕食代・ビール代、通信費など込み）  
定員：70名（先着順：定員を超えない限り特に連絡は致しません）  
申込先：平賀・干場 Fax 03-5689-8192 電話 03-5689-8182  
(有)ティエフネットワーク Email: [tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp](mailto:tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp)

### ◎音楽祭に続き、事務所でコンパ・・・「世界革命」のために！？素敵なネットワークを！

5月の連休明けの土曜日、五時から音楽祭だということで三鷹寮へ。駒場の民族音楽やミュージカルのサークル、寮生のピアノ独奏や韓国人留学生の弾き語り、バイオリンとギターの協奏、沖縄民謡と盛り沢山。スポーツ大会もやったらどうかと寮生に提案。昔は広いグラウンドで野球大会や深大寺までのマラソンもしていた。テニスや卓球、バドミントン、銀杏並木で綱引きなどして、交流をはかればいい。OBも参加して盛り上がりたい。

7時からコンパ。今回は三鷹クラブ差し入れの寿司がメインディッシュ。いつものように花小金井駅前の魚力で握って貰い直行する訳にはいかず、寮の事務所で教わった銀の皿の宅配を頼むが、割高。他に寮生が作った柔らかチャーハン？に乾き物で盛り上がる。食べ足りない“欠食児童”と近くの和食ファミレス華屋与兵衛へ。10時過ぎから12時過ぎまで

50人近くにご馳走、留学生も沢山参加、自己紹介から始まって賑やかに交流する。

6月に1年生の工藤君が委員長になって、新しい寮委員会ができたので、●事務所で顔合わせのコンパ。寮生13人、42年入寮の中村英君、43年入寮の井上豊君もつまみと酒を持参、折畳み含め椅子が16脚しか無い所に17人。一人は終わり際参加でどうにかセーフ。オデンとピザ、寿司で若者同志と老若交流の仲立ち。参加者は二年生の上田大斗(理Ⅱ・京都府西大和学園)、實川節朗(文Ⅲ・兵庫県白稜高)、満重佑輔(理Ⅰ・鹿児島県鶴丸高)、竹山美奈子(文Ⅲ・鹿児島県甲南高)、宮本洋之(文Ⅰ・大阪府洛南高)、榎野尚(文Ⅰ・県立岡山朝日高)、松沢早希(文Ⅲ・茨城県立土浦一高)さんに、一年生が甲斐貴之(理Ⅱ・県立熊本)、岡本拓人(理Ⅰ・静岡県浜松北高)、野村将揮(文Ⅰ・富山県立高岡高)、佐藤俊秀(理Ⅰ・智辨和歌山高)、工藤駿(文Ⅰ・県立盛岡第三高校)、田部淳ウィリアム(文Ⅰ・宮城県仙台第二高)君。

三鷹寮にいた人間なら入会金(終身会費)一万円払えば入会でき、会員名簿と講演会やゴルフコンペ等の案内が届く三鷹クラブ。時々飲み会をする若い諸君と、十年ほどもすれば一緒にプレイできるだろうか?できるだけ沢山の仲間とコンタクトを取り、たまに同期会をやる時は●も呼んでくれると嬉しい。コアの10人が10人の仲間と連絡を取れば20年で百×20の2千人、今の倍の会員の同窓会ができる。文一の弁護士から理三の医師まで、生活とビジネスの全てをカバーできるオールマイティーなネットワーク。男女、多人種共住の寮であれば、多彩で多機能なグローバルネットワークができる。毎年1、2回同期で集まり、胸襟を開き一献傾け、情報交換、時にアトバイスしあう素敵なネットワーク。同期の横のネットワークを縦に繋ぐ場を、年寄が作っておこう。

二十歳の時に「力ある者は力を!知恵ある者は知恵を!」出し、「一人は万人の為!万人は一人の為に!」と「世界革命」を叫んだ年寄の戯言だが、若い諸君にも「選ばれし者」として、自分の、日本の為だけでなく、世界の為、人類の為に役立って欲しい!

### ◎今年のカモメール、当選は下二桁73

封筒の番号下二桁73番の方に、白神の故郷の海の幸を送らせて頂きます。読了ありがとうございます。再見!